



大分合同新聞  
2023年  
8月13日(日)  
朝刊 6面

# 子ども食堂へ継続提供

食べて明日も元気に



（左）子ども食堂に無償提供する規格外の冷凍パン  
（右）連携協定を結んだ岩井正久代表（前）左から2  
人目、五所正信代表（前）左端）ら関係者、宇  
佐市役所



【宇佐】宇佐市の宇佐パン粉（岩井正久代表、長洲）とダスキン宇佐（五所正信代表、畑田）は毎月、市内の子どもの食堂に規格外の冷凍パンを無償で提供する取り組みを始めた。

## 規格外の冷凍パン 無償で 宇佐パン粉とダスキン宇佐

宇佐パン粉は7月、自社で製造する冷凍パンの規格外品を子ども食堂に贈り、好評だったことから継続支援を決めた。  
定期的に開いている市内

の4カ所が対象。それぞれが必要とする個数を市がとりまとめ、ダスキン宇佐がボランティアで配達する。市役所で今月7日、両社と市、各子ども食堂の代表が「市すくすく子ども食堂ネットワーク連携協定」を結んだ。市によると、企業が子ども食堂に定期的な支援する協定は県内では初めてという。

岩井代表は「フードロス削減と子ども食堂の支援が同時にできる。継続は力と考え、支援を続けていきたい」とあいさつ。是永修治市長は「子ども食堂は民間の力を借りた子育て支援。このような連携協定は全国でも少なく画期的だ。支援の輪がますます発展するよう応援したい」と感謝した。子ども食堂「鈴ごんつち」（森山）の大嶋久美子代表（43）は「前回のパンはとても喜ばれた。定期的な支援は利用者の安心につながる。提供回数を増やすことも検討したい」と話した。（池辺純哉）

【問②】「子ども食堂」とはどのようなものか。調べてみましょう。

### ※調べ学習

【問②】記事の取り組みは同時に2つの課題を解決できる可能性があります。記事の中から2つ探しましょう。

課題-1 【 **フードロス削減** 】 課題-2 【 **子ども食堂の支援** 】

【問③】問2の2つの課題解決はSDG s の17のゴールのどれにあてはまるか考えましょう。

課題-1 【 **例：「12」 つくる責任 つかう責任** 】

課題-2 【 **例：「1」 貧困をあくそう、「2」 飢餓をゼロに、「3」 すべての人に健康と福祉を** 】